



# 常任委員会活動状況

総務・文教福祉・生活産業・建設水道の4つの常任委員会では閉会中の継続調査事項について視察を実施し、9月定例会にて付託された議案・請願の審査等を行いました。また、予算決算委員会(分科会を含む)では予算決算議案の審査を行いました。

## 総務委員会(分科会)



### 消防庁舎等の視察を実施

芦屋市、尾道市、丸亀市へ消防施策、監査について行政視察を実施した。また、9月定例会では議案第56号ほか3件を審査した。財政状況が厳しい中市の基本的考え方を尋ねる質疑等があったが、採決の結果、原案可決または認定すべきものとされた。

## 文教福祉委員会(分科会)



### 図書館等の視察を実施

府中市、前橋市、上田市へ図書館、学校支援地域本部事業について行政視察を実施した。9月定例会では議案56号ほか7件と請願4件を審査した。政権交代による補正予算へ影響等を危惧する意見や各種事業に対して詳細を尋ねる質疑、事業の精査等の要望が出されたが採決の結果、原案可決または認定すべきものとされた。また、請願の4件は全て採択された。

## 生活産業委員会(分科会)



### 環境・防災の視察を実施

広島県、宇部市、直方市へ環境、防災について行政視察を実施した。また、9月定例会中の議案審査では、議案第56号ほか4件を議題とし、緊急雇用創出事業等に関する補正予算や平成20年度の一般会計決算等を審査した。なかでもF1経済効果調査費についてはその効果や税収等詳しく尋ねる質疑等があったが、採決の結果、原案可決または認定すべきものとされた。

## 建設水道委員会(分科会)



### 駅前整備等の視察を実施

福井市、富山市、長野市へ駅前整備、コンパクトシティ、上下水道ビジョンについて行政視察を実施した。また、9月定例会では議案第56号ほか5件について審査した。道路の瑕疵担保責任についての質疑等や補正予算、決算議案ともに詳細な説明を求める質疑があった。採決の結果、原案可決または認定すべきものとされた。

## 予算決算委員会

9月定例会にて全ての補正予算と決算議案について各分科会から報告がされ、採決の結果、原案可決または認定すべきものとされた。

# 議会の動き (議長・副議長の公務等)

略称/各種会議名	各派/各派代表者会議	政調/政務調査費経理責任者会議
議運/議会運営委員会	全協/全員協議会	広報/議会広報広聴委員会

## 7月

- 1日 椿・小岐須溪谷山開き式 (副議長・生活産業委員長・関係議員)  
鈴鹿亀山地区広域連合議会臨時会 (関係議員)
- 2日 北勢公設地方卸売市場組合議会議員協議会 (関係議員)  
鈴鹿川改修促進期成同盟会総会 (議長)
- 3日 三重県戦没者追悼式 (議長)  
鈴鹿の海開き式 (副議長・生活産業委員長・関係議員)  
広報  
鈴鹿中央総合病院運営協議会 (副議長・関係議員)
- 6日 建設水道委員会  
県知事要望 (議長)
- 7日 鈴鹿市交通安全都市推進協議会常任委員会・総会 (議長・生活産業委員長)  
大相撲追手風部屋の名古屋場所開催に伴う表敬訪問 (議長)
- 8日 各派  
第17回ヤングリーグ全日本選手権大会出場に伴う表敬訪問 (議長)
- 9日 三重県後期高齢者医療広域連合議会臨時会 (議長)  
鈴鹿亀山道路建設促進期成同盟会総会 (副議長)  
一般国道1号関バイパス建設促進期成同盟会総会 (副議長)
- 10日 北勢5市議会懇話会 (正副議長)
- 11日 前鈴鹿市消防副団長叙勲受章祝賀会 (議長・関係議員)
- 13日 Honda鈴鹿チーム第80回都市対抗野球大会出場に伴う表敬訪問 (正副議長)
- 13日~15日 文教福祉委員会行政視察 (東京都府中市、群馬県前橋市、長野県上田市)  
生活産業委員会行政視察 (広島県広島市、山口県宇部市、福岡県直方市)
- 15日 全国市議会議長会第176回理事会 (議長)
- 16日 全協、政調、総務委員会
- 17日 議会改革特別委員会  
スポーツマンハウス鈴鹿竣工式 (議長)
- 18日 第47回鈴鹿市老人クラブ連合会大会 (議長・関係議員)
- 21日~23日 建設水道委員会行政視察 (福井県福井市、富山県富山市、長野県長野市)
- 22日 三重県教育委員会への要望活動 (議長)  
国道306号整備促進同盟会総会 (議長)
- 22日~24日 総務委員会行政視察 (兵庫県芦屋市、広島県尾道市、香川県丸亀市)
- 23日 平成21年度中勢バイパス建設促進期成同盟会定期総会 (議長)
- 24日 鈴鹿中央線延伸バイパス道路整備促進期成同盟会総会 (議長)
- 28日 椋川改修促進期成同盟会総会 (議長)

- 29日 日中友好促進三重県市議会議員連盟役員会 (副議長)
- 30日 第38回消防救助技術東海地区指導会 (議長)
- 31日 三重県都市計画審議会 (議長)  
鈴鹿バルーンフェスティバル組織委員会 (副議長)

## 8月

- 4日 生活産業委員会  
堀切川改修促進期成同盟会総会 (議長・関係議員)
- 5日 文教福祉委員会、各派  
北勢5市議会合同研修会 (正副議長・議員)
- 6日 Honda鈴鹿チーム都市対抗野球大会出場壮行会 (正副議長・関係議員)
- 9日 第10回あかりフェスタ (議長)
- 10日 議会改革特別委員会
- 12日 建設水道委員会
- 20日 北勢公設地方卸売市場組合議会臨時会 (関係議員)
- 23日 第38回鈴鹿市柔道大会 (議長)
- 24日 議運、議会改革特別委員会
- 31日 本会議、議運、各派

## 9月

- 7日~11日 本会議
- 10日 議運、各派
- 11日 予算決算委員会
- 15日 文教福祉委員会 (分科会)  
建設水道委員会 (分科会)
- 17日 総務委員会 (分科会)  
生活産業委員会 (分科会)  
鈴鹿市新名神推進懇話会 (議長)
- 20日 鈴鹿市消防操法大会 (副議長・総務委員長・関係議員)
- 25日 予算決算委員会  
議会改革特別委員会
- 26日 伊勢湾台風50年事業「2009防災のつどい・みえ」オープニングセレモニー (議長)
- 28日 議運、各派
- 29日 本会議、全協、政調、広報
- 30日 鈴鹿市文化振興事業団理事会 (副議長)

## 9月定例会 一般質問 (要旨)

一般質問は、定例会で議員が議案に関係なく市政全般について市の方針をたずめるものです。9月定例会で質問を行った議員の主な質問と答弁の内容を紹介します。(質問順)

### 市政研究会 水谷 進 議員



#### 1 教育について

- (1) 教育での新聞活用(NIE)について
- (2) 「新しい時代の社会教育」について

#### 2 中央道路の渋滞緩和について

- (1) 第2中央道路構想について
- (2) 金沢川改修に合わせた計画について

#### 3 指定管理者について

**質問1(1)** 教育での新聞活用は子どもたちの文字離れ、読書嫌い、社会への無関心などに対する有効な手法と思うが、積極的な取り組みを考えないか。

**答弁1(1)** 地道に取り組むとともに、NIE実践校が増えるよう校長会にてその効果を周知していく。

**質問1(2)** 「新しい時代の社会教育」への対応は。

**答弁1(2)** 地域における課題学習や課題解決活動等、新しいニーズに応じた社会教育の充実に努めたい。

**質問2(1)** 慢性的な渋滞をどのように解決するのか。

**答弁2(1)** 約10年後に完成予定の中勢バイパスや都市計画道路である平野三日市線などの早期完成が最も効果的である。

**質問2(2)** 金沢川の改修に合わせた道路改良計画において、地域住民のための混雑を緩和する方策は。

**答弁2(2)** 交通量の増加が予想されるため、県道上野鈴鹿線をはじめ、交差点部分の混雑を緩和させる方策を三重県及び公安委員会と協議していきたい。

**質問3** 「情報公開制度」と「個人情報」の取り扱いは。

**答弁3** 情報公開制度の規定を持つよう指導する。また個人情報は実効性のある方針を明確にさせたい。

## あくていぶ21 森 喜代造 議員



- 1 定額給付金について
  - (1) 現状について
  - (2) DVについて
  - (3) 今後の対応について
- 2 学校の現状について
  - (1) 不登校の実態について
  - (2) 校内暴力等の問題行動について

**質問1(1)** 今までの対応と福祉関係の対応及び給付金を受けた件数と総額、外国人に対しての対応は。

**答弁1(1)** 広報せずか等で周知をし、要支援者には個別に対応を行った。給付件数は8月末で約7万8千件、給付総額は約29億7千万円、外国人には通訳を配置し、申請書等案内は3か国語で対応している。

**質問1(2)** DV被害者の扱いはどうしているのか。

**答弁1(2)** 福祉支援の一環として、鈴鹿市DV被害者特例給付金給付事業を行っている。

**質問1(3)** 未申請者に周知はどうしていくのか。

**答弁1(3)** 再度、案内文書を発送する。高齢者世帯には民生児童委員に協力をお願いしている。

**質問2(1)** 小中学校で確認されている数と学校の対応はどうしているのか。

**答弁2(1)** 平成20年度は222名で過去3年間は減少傾向にある。スクールカウンセラー等を配置し保護者や学校と連携を取り、総合的に取り組みたい。

**質問2(2)** 報告件数と今後の取り組みについて。

**答弁2(2)** 平成20年度は問題行動の発生件数が近年増加しているため、規範意識や自己肯定感向上の取組を推進していく。

## あくていぶ21 青木 啓文 議員



- 1 鈴鹿市の環境施策について
- 2 生活保護費受給問題について

**質問1(1)** 鈴鹿市の環境問題に対する考え方、クリーンエネルギー自動車と住宅用太陽光発電システムに対する補助制度及びCO2削減効果は。

**答弁1(1)** 市、市民及び事業者の協働により、人と自然、あるいは人と人の共生を目的としている。クリーンエネルギー自動車補助は350件、2,100万円の予算を確保。本年8月末までの累計で約356トンのCO2を削減。住宅用太陽光発電システム補助は国の補助制度復活に伴い、補助を休止している。

**質問1(2)** レジ袋有料化のこれまでの取組みと実績

について。

**答弁1(2)** 平成20年9月1日からレジ袋有料化を行っており、レジ袋削減(有料化)・マイバック推進会議を組織し、さまざまな啓発活動を行ってきた。現在鈴鹿市の実施事業者数は13事業者40店舗であり、平成21年6月までのレジ袋削減枚数は2,045万枚である。

**質問2** 「生活保護調査委員会」の報告を踏まえどのような改善に取り組んだか。また、国への返還額が確定する時期及び返還方法は。

**答弁2** 研修会を定期的に開催し、職員の情報共有の場としている。返還額の確定は、国が決定するため未定だが、早い時期に確定していただきたいと思う。返還方法は様々な手法を検討し、適切な対応を講じる所存である。

## あくていぶ21 伊藤 健司 議員



- 1 高額医療・高額介護合算療養費制度
- 2 排泄ケア・おむつ支給事業について
- 3 障がい者就労・雇用支援について

**質問1** 制度の基本的枠組み・留意点・周知方法は。

**答弁1** 国民健康保険の高額療養費算出対象世帯において介護保険受給者がいる場合、一定基準額を超える自己負担額を合算し、超過分が払い戻される。10月以降に知らせる。

**質問2** おむつ支給事業の問題点と改善策について。

**答弁2** 支給されるおむつの種類の中にリハビリパンツを加えることや各種の多様で柔軟な組み合わせについてはケアマネージャーや地域包括支援センターの意見を聞きながら対象者のニーズに合った多様な要望に

応えるように検討・改善していきたい。おむつ訪問票における状況内容(常時便失禁の撤廃)は支給条件を精査し、適切に対象者を決定する。

**質問3** 来年度職員採用における障がい者枠2名の根拠と今後の雇用計画および知的・精神の方々への対応。民間企業への支援と在学中、卒業後の就労支援について、本市としてどう考えているのか。

**答弁3** 現在23名の障がいのある方を職員として雇用している。教育委員会が2名の不足であり今後も計画的に配置していく。知的・精神の方に対しましては就業体験の実施にとどまっている。民間企業への支援は総合評価落札方式に障がい者雇用評価項目を追加した。卒業後の就労の場の確保については、事業所等の理解を得た上で、学校と連携して実施。



## 緑風会 藪田 啓介 議員

- 1 国民健康保険について
- 2 緊急雇用創出事業について

**質問1(1)** 国民健康保険税の算定方式は。

**答弁1(1)** 国民健康保険税は医療分、後期高齢者支援分、介護納付金分について平等割、均等割、所得割、資産割というかたちで算定している。

**質問1(2)** 国民健康保険税の軽減世帯と加入世帯の構成および財源はどうなっているか。

**答弁1(2)** 低所得世帯における平等割、均等割の7割・5割・2割分を軽減している。平成20年度では財源は国・県より約3億6,120万円、市から1億2,040万円を繰り入れている。

**質問1(3)** 国保税の今後の見通しはどうか。

**答弁1(3)** 失業、リストラ、少子高齢化による一人世帯の増加などにより従来の所得分布構成が大きく変化をしており、大変厳しい状況にある。

**質問2(1)** 緊急経済対策により当市役所における臨時雇用職員の採用状況はどうか。

**答弁2(1)** 都市公園維持管理、小中学校・幼稚園の環境整備、外国人児童・保護者のサポートなど延べ103名を採用している。

**質問2(2)** 外国人児童・保護者サポート事業と保育園通訳の現状はどうか。

**答弁2(2)** サポート事業は子供たちに多文化共生を学校で体験するのに大変効果的であり、保育園での通訳は園児の心の安定に寄与している。



## 無所属クラブ 杉本 信之 議員

- 1 自殺者に対する行政の役割について
- 2 農林水産物のブランド化について

**質問1** 11年連続で「まさかあの人だ」という人が年間3万人も自殺に追い込まれる。自殺は社会的な脅迫死であり、自殺対策をすることは生きやすい地域を創ることになる。日本の男性は働きすぎであり、男性が自分の弱みをさらけ出せる社会に変える必要がある。また、未遂者や遺族への精神的なケアも必要で、行政としての対応が大切と思われる。

**答弁1** 三重県では平成20年に445人の方が自殺している。県は自殺対策行動計画を策定し、自殺は個別の問題ではなく社会全体で取り組むとしている。未遂

者や遺族に対しては、地域を含めた周りの人々の「みまもり」が必要である。市としても健康相談やイベント等の中で予防啓発に努め、関係機関と連携を図り、民生委員等にも協力を頂きながら自殺対策に取り組んでいきたい。

**質問2** 農林水産物の振興を図る意味でも、生産から販売・加工への取り組みに行政が関り、ブランド化を図ることが必要と思われる。支援から共に創っていくという、市民への行政参加である。そして10年20年先を見据えた鈴鹿市の農林水産物のビジョンを明確にしていく必要があると思われる。

**答弁2** 鈴鹿には米やサツキ・鶏卵が県下の有数な産地となっている。各種団体と連携して新たな商品の開発や販売などの支援に努めていきたい。



## 日本共産党 石田 秀三 議員

- 1 国保一部負担金の減免について
- 2 入札の改善について
- 3 市長等特別職の退職金について

**質問1** 生活困窮により、医療機関の窓口で支払う一部負担金が払えない世帯が急増している。国保法44条では支払いが困難な被保険者には一部負担金の減免ができるとされている。鈴鹿市でも具体化すべきである。

**答弁1** 厚労省の通知で「減免の適切な運用」が指示されているところでもあるが、現状では、財源の確保保険財政への影響、減免の判定基準の設定など検討を要すべき点多々あることから、国の行動等を見極めながら取り組んでいきたいと考えている。

**質問2** 昨年一般競争入札に「総合評価」が取り入れられたが、「最低制限価格」がなくなり落札価格は6割台に下がった。このような事態は健全な競争とは言えない。また、建設コンサルタントの入札には最低制限価格がないので、設定すべきである。

**答弁2** 入札結果の実態等をみながら改善していきたい。

**質問3** 一般職員の退職金は在職1年につき1ヶ月の基準で支払われるが、市長は1年につき4.5ヶ月など特別職はランクを付けて割り増し支給される。このような特権的な退職金規定はやめて、一般職員と同じ制度にすべきである。

**答弁3** 変更する必要性はないと考える。

## 日本共産党 森川ヤスエ 議員



- 1 市営住宅の入居希望者の早期入居を求める
- 2 市民税・国保税の減免制度の拡充を求める
- 3 親切で解りやすい「税の減免制度」などの広報を

**質問1** 失業者や低所得者にとっての生活支援としても住まいの提供は最優先されるべきだが、不足の状況が慢性的に続いている。民間借り上げや家賃補助も含めて真剣に対応すべき。

**答弁1** 住生活基本計画のなかで「あんしん賃貸支援事業」を来年度実施に向けて調査検討し、安心居住の確保を図って行きたい。

**質問2** 労働者が職を失ったときや、転職により収入が激減したとき市民税や国保税の減額免除制度を活用できるように改善をするべきではないか。例えば、他

市で行っているように、失業中に納期が到来する金額の免除、前年度所得の2割以上減少時などには現年度収入へ課税する方法や所得が減額した場合に一定の比率で税の減額を行うなどの改善ができないのか。

**答弁2** より良い制度の構築や運用に向けて研究していきたい。

**質問3** 督促状の発送や、国保資格証発行件数が増えている。しかし減免制度申請が極端に少ない。減免制度の広報を丁寧にすることを求める。

**答弁3** 制度の運用も含めて他市町のホームページ等参考にし、税の減免制度の周知に努めたい。

## 無所属クラブ 板倉 操 議員



- 1 続く市民の困難、行政の対応は  
(1) 鈴鹿市緊急経済対策の進捗状況  
(2) 鈴鹿の離職者の実態について

**質問1(1)** 対策本部をいち早く設置し、国や県の対策と共に様々な市民生活の改善策に取り組んできたが、市民生活は益々深刻になっている。月々の生活相談は4百件から5百件に及び、生活保護申請数は昨年比の2倍、原因は失業が多い。この実態をどのようにとらえ、緊急に必要なことは何と思うか。

**答弁1(1)** 生活に直結する雇用に関わる問題は依然として存在し、景気後退の影響が強く市民生活に様々な影響を及ぼしていると認識している。今まで以上の努力で、事業分野を問わず就労しやすい事業を設定し

離職者を臨時職員として採用したい。また民間事業者からの事業提案も受け雇用創出に努める。

**質問1(2)** 離職者は「事業主都合」と「自己都合」に分かれるが、自己都合は雇用保険受給や住宅支援で著しく不利益を被る。実態は自己都合に追い込まれる例が多く、受ける不利益の情報も届いていない。鈴鹿管内でも自己都合離職は増えている。市民の不利益に行政として打つ手があるのではないか。

**答弁1(2)** 労働問題に直面している方々への対応はこれまでに加え、労働問題に関するQ&A等の情報提供についても検討していく。離職者が不利益を被ることなく公正に扱われることが大切である。企業に対し、必要に応じて公正な取り扱いを働きかけていきたい。

## 政友会 大杉 吉包 議員



- 1 内需産業の育成について
- 2 出生率増加対策について
- 3 地元業者への工事発注と雇用対策について

**質問1** 外需産業を堅持しつつ内需産業を育成、バランスのとれた産業構造を構築することにより雇用と財政の安定化をはかるべきと考えるが市長の見解は。

**答弁1** 内需産業の育成の重要性は十分理解しており企業立地促進法の基本計画に健康、福祉、食品、先端素材関連産業を盛り込むことを想定している。

**質問2** 本市として独自に出生率の増加対策として具体的に打ち出し得るものがあるか。

**答弁2** 本市の出生率は1.38で増減を繰り返しながら

漸減するものと予想される。カンフル剤はないが女性が出産後も安心して働ける環境づくり、地域全体で支える環境づくりの啓発に努め国の手当の拡充を期待したい。

**質問3** 市内の土木建築業者の育成と発注の現状と雇用対策について問う。

**答弁3** 地元優良業者は言うまでもなく本市の大切な資産であり重要性については強く認識するところである。

また雇用の創出についても重要な課題である競争入札で実施した工事関係の入札案件は、一部大規模工事等を除き、大部分は市内業者に発注している。





## 公明党 池上 茂樹 議員

- 1 がん教育について
- 2 検診率向上にむけた取り組み
- 3 女性特有のがんについて

**質問1** がんについて学校で学ぶ機会をつくれぬか。子宮頸がんは若年層での発症率が高く、早期予防の観点から周知するための取組みは。

**答弁1** 小学校では6年生の体育科の保健で、中学校では3年生の保健体育科の保健で「病気の予防」の学習でがんについて学ぶ機会があり、今後、学校教育活動の全体を通して健康教育の充実に努める。校長会で講師に「医師」を招き、養護教諭と共に研究会をもち、子宮頸がんについて理解を深め、保護者の方にも啓発していく。

**質問2** 「がん対策基本法」が施行され、2011年までに「がんの検診率」を50%に上げることを目標に立てたが、今後の取り組みは。

**答弁2** 検診期間、検診回数、検診会場等、より受診しやすい環境を設定し取り組んでいく。

**質問3** 乳がん、子宮がん検診の申し込みが往復はがきで不便を感じる等の意見がある。FAXによる申し込み方法も考えてはどうか。子宮頸がんワクチンが承認されれば、公費負担をすべきと思うが、乳がん検診の検診費が2,800円と三重県下で一番高いが、検診費の見直しは。

**答弁3** 他市の状況もふまえ、利便性の高い申し込み方法を検討する。国・県の動向も見極め検討したい。近隣市町の自己負担額と比較し検討する。



## 政友会 今井 俊郎 議員

- 1 学校現場におけるIT化のすすめ  
小・中学校の教職員用パソコンの増設を
- 2 公園整備について  
(1) 遊具の整備状況ならびに今後の進め方について  
(2) 公園の排水対策と芝生化

**質問1** 試験問題や学級通信などの文書作成にパソコンが不可欠であるが、学校への配備は不足しており、教職員の勤務に支障をきたしている。

**答弁1** 市のパソコン更新時、希望を聞いて学校に配備する。又、学校に配備されている教育用パソコンを校務に活用出来る環境を整えていきたい。

**質問2(1)** 公園遊具が子ども向けばかりだが、少子

高齢化を見据えた大人も利用できるストレッチ遊具の設置を進めるべきでは。

**答弁2(1)** 地域の方の意見を参考に、既存遊具の更新時に整備を図っていきたい。

**質問2(2)** 弁天山公園、旭が丘中央公園の排水対策に芝生化を考えてはどうか。

**答弁2(2)** 弁天山公園は整備されてから約20年が経過しており排水の点検を行いたい。旭が丘中央公園は排水と共に砂ボコリで近隣民家にご迷惑をおかけしている。それぞれの公園において、整備費用及び維持管理費とその効果について、芝生化等も含め、比較検討していきたい。



弁天山公園



## すずか倶楽部 中西 大輔 議員

- 1 NTT西日本跡地土地利用転換計画について
- 2 指定管理者制度について

**質問1(1)** 事業・計画の進捗状況について。

**答弁1(1)** 防災型広場ゾーンについて、用地単価や整備手法などNTTとの合意に至っていない。新産業支援ゾーンについて、ものづくり支援センター設置候補地の一つとして検討している。NTTが整備するゾーンは、NTT担当部署で



整備計画を検討中。

**質問1(2)** 計画の再評価について。

**答弁1(2)** NTT西日本の考えを尊重することが肝要と考え、計画を改めて再評価、見直しをすることは考えていない。

**質問2(1)** 指定管理者制度の事業総括について。

**答弁2(1)** 経費削減効果及び施設利用者へのサービス向上などについて、一定の効果が表れていると考える。

**質問2(2)** 市立体育館指定管理と一連の施設の指定管理期間に2年のズレがあるが、担当課と協議、調整すべきと考えるがどうか。

**答弁2(2)** 担当スポーツ課と協議、調整する。



## すずか倶楽部 後藤 光雄 議員

- 1 中学校プールのあり方について
- 2 市役所の土日開庁について
  - (1) 白子地区市民センター日曜開設施設の状況と今後について

**質問1(1)** 1億円はかかるプールで水泳の授業は何回位実施されているのか。

**答弁1(1)** 学校の規模等で違うが6~18時限である。

**質問1(2)** プールの維持経費はどのくらいか。

**答弁1(2)** 1校当り94万円程かかっている。

**質問1(3)** プールのない学校にもプールを造るのか。

**答弁1(3)** 基本的な考えでは整備していく。

**質問1(4)** スポーツガーデン等の利用は考えないか。

**答弁1(4)** 移動の時間を考えると難しい。校区内の小学校のプールの利用を考えてみたい。

**質問2(1)** 白子地区市民センター日曜開設の試行が市役所の土日開庁につながる計画はないか。

**答弁2(1)** 現在はそこまでの計画はないが、市民アンケートの結果では50%以上の方々が市役所の開庁を望んでいる。

**質問2(2)** 鈴鹿市によく似た規模で人口22万人の群馬県太田市では、1局13課の土日開庁サービスを実施し、4,400万円の経費で5億円余の収納を実現しているが、市の考え方はどうか。

**答弁2(2)** 同じ結果が得られるかわからない。よく分析して検討したい。



## 市政研究会 中村 浩 議員

- 1 生活保護費の問題について
- 2 Cバスについてのパート10

**質問1** 生活保護費問題の現状はどうなっているのか。また、国庫負担金の返還額と返還手法は。

**答弁1** 返還額は県とも協議後、正式に国の方針が示された後、返還額が確定されると考える。返還の手法については、一旦は市費にて精算するが、その後のことについては他市の事例も勘案して適切な対応を講じる。なお、滝川市や深谷市の二市の事例も含めて考えている。

**質問2** 地域公共交通会議の運営等はどうなっているのか。また、地域公共交通活性化等の考え方はどうな

っているのか。なぜ、もっと多くの市民をメンバーに入れないのか。

**答弁2** 住民や利用者も含めた地域の関係者が連携した地域公共交通会議を積極的に運営して市内公共交通体系の充実に向けた検討を進めたい。また、交通計画は当市の公共交通サービスの将来的な拡充に向けて検討するものであり公共交通機関を利用する市民の移動の円滑化を図ることを目的に関係者が連携しながら策定に取り組みたい。地域交通の予算については、民間公共交通事業者と市行政との費用分担に関する協議や財政的な制約も勘案したうえで優先順位を考え、できるだけ効果の高い事業を選定しながら進めたい。



## 公明党 森 しず子 議員

- 1 危機管理への取り組みについて
  - (1) 新型インフルエンザ対策の取り組みについて
  - (2) 水道の濁り水対策等の取り組みについて

**質問1(1)** 重症化しやすい妊婦や乳幼児、基礎疾患を持つ人たち等への対策はどうするのか。新型インフルエンザワクチン接種の優先順位はどうなるのか。また、学校園や保育現場等での対応はどうするのか。

**答弁1(1)** 重症化しやすい人への対策は注意等をまとめた「インフルエンザ豆知識」を作成し、母子健康手帳等各種手帳などの交付時にチラシ等を配布し、注意

喚起をしている。予防接種の優先順位としては、救急隊を含む医療従事者、妊婦と基礎疾患がある人、一歳から就学前の幼児、一歳未満の乳児の両親、健康な小・中・高校生と高齢者の順に接種する案が示されている。また、学校園では保健所と連携し、早期受診や治療に努める。なお、家庭での保育が困難な園児には、保護者等の就労を支える観点から、保育所の開園を継続したい。

**質問1(2)** 濁り水事故等の緊急事態が起こった時に市全体での取組みが必要ではないか。

**答弁1(2)** 広範囲に濁り水事故等の緊急事態が発生した時には、市全体で取組むとともに水道事業関係団体とも連携を取りながら対応している。



## 公明党 森しず子 議員

- 1 特別支援教育について
  - (1) 途切れない支援の取組
  - (2) 学校における支援体制の構築
  - (3) 今後の特別支援教育の在り方
- 2 平田野中学校移転に伴う通学路について

**質問1(1)** 特別支援教育がスタートしてから4年目を迎え、その推進体制と児童生徒数は。

**答弁1(1)** 本年より保健福祉部に子ども家庭支援室を設置し、途切れない総合的な支援体制を整えた。市内で1,010人の児童生徒が支援を必要としている。

**質問1(2)** 早期発見と継続的な支援のための学校における取組みの現状と課題について。

**答弁1(2)** 特別支援教育コーディネーターを中心とした

校内委員会を中心に、23%に止まっている通常学級に在籍する生徒の個別の教育支援計画の作成に努めている。

**質問1(3)** 今後の特別支援教育は、どのような方向を目指しているのか。

**答弁1(3)** 自立した主体として平等に社会参加できる※インクルーシブ教育の理念を日常の教育活動に浸透させていきたい。

**質問2** 平田野中学校移転に伴う通学路はどのような体制でどこまで進んでいるか。今後の取組みは。

**答弁2** 平田野中学校新校舎建設委員会の中に通学路検討部会を設置し、各小学校区別のグループで検討しており、現在通学路案に基づいて整備が必要な箇所の確認調査を行っている。今後は関係当局に整備の要望を出し、学校長が決定していくこととなる。

※インクルーシブ教育=障がいのあるなしに関わらずすべての子供が地域で共に学び合うこと



## 政友会 佐久間 浩治議員

- 1 鈴鹿市職員の採用試験の基準は
- 2 入札制度について
- 3 公用施設の管理について

**質問1** 本年度実施の採用試験の応募状況は。鈴鹿市民の優先採用はできないか。採用後は市内在住の条件をつけるべきではないか。特に消防士などは災害時の緊急出動などを考えて市内在住にすべきでは。

**答弁1** 不況により公務員人気が高まり応募者は増加している。今年度から年齢要件を緩和した。採用後に在住する事を条件としている自治体もあるが、勤務に支障がないように市内か周辺市に居住している職員がほとんどである。採用後の配属先等の勤務状況に応じて指導等の方法で対応している。

**質問2** 設計図書の電子化の進捗状況について。

**答弁2** 設計図書の大部分について、ホームページに掲載する予定。購入証明証の添付は不要にする。ホームページ閲覧環境のない参加業者用に、設計図書の販売や閲覧も、当面は並行して継続していく。このことにより、入札参加業者の経済的負担及び廃棄書類による環境負荷の軽減に資する。

**質問3** 文化会館、市庁舎、道路等の公用施設の管理をどのように考えているのか。また、本館エレベータの待ち時間の長さや本館喫煙室の換気対策は。

**答弁3** 緊急性などを考慮しながら年次計画を立て改修、修繕に取組み維持管理に努める。本館エレベーターは3基全体で自動制御し最良のシステムで稼働中。換気は設備投資の是非等慎重に検討する。

## 意見書について 9月定例会で次の5件の意見書を可決し、関係行政省庁に送付しました。

「義務教育費国庫負担制度の存続と全額国負担」を求める意見書

●義務教育費国庫負担制度の存続および全額国負担とすること  
内閣総理大臣・文部科学大臣・衆議院議長・参議院議長に送付

「保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充」を求める意見書

●子どもたちの学びを保障するための保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充を行うこと  
内閣総理大臣・文部科学大臣・衆議院議長・参議院議長に送付

「『新・教職員定数改善計画』(案)のすみやかな実施と教育予算拡充」を求める意見書

●「新・教職員定数改善計画」(案)のすみやかな実施と教育予算拡充を行うこと  
内閣総理大臣・文部科学大臣・衆議院議長・参議院議長に送付

子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める意見書

●子宮頸がん予防ワクチンを無料で接種できるよう公費助成をおこなうこと  
内閣総理大臣・厚生労働大臣・衆議院議長・参議院議長・三重県知事に送付

三重県北部地域の都市建設を推進し、雇用拡充や経済の活性化を求める意見書

●三重県北部地域での都市基盤整備に関する各種公共事業を積極的に推進すること

●地域経済を支える地元企業を育成し、地元雇用・地元調達の拡充等による地域経済活性化策を図ること

内閣総理大臣・国土交通大臣・経済産業大臣・衆議院議長・参議院議長・三重県知事に送付

# 議決一覧表(9月定例会)

議案番号	件名	議決内容	
議案第56号	平成21年度鈴鹿市一般会計補正予算(第2号)	原案可決	全会一致
議案第57号	平成21年度鈴鹿市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	全会一致
議案第58号	鈴鹿市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第59号	鈴鹿市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第60号	市道の廃止について	原案可決	全会一致
議案第61号	市道の認定について	原案可決	全会一致
議案第62号	平成20年度鈴鹿市一般会計決算の認定について	認定	賛成多数
議案第63号	平成20年度鈴鹿市国民健康保険事業特別会計決算の認定について	認定	賛成多数
議案第64号	平成20年度鈴鹿市土地取得事業特別会計決算の認定について	認定	全会一致
議案第65号	平成20年度鈴鹿市福祉資金貸付事業特別会計決算の認定について	認定	全会一致
議案第66号	平成20年度鈴鹿市住宅新築資金等貸付事業特別会計決算の認定について	認定	全会一致
議案第67号	平成20年度鈴鹿市老人保健特別会計決算の認定について	認定	全会一致
議案第68号	平成20年度鈴鹿市下水道事業特別会計決算の認定について	認定	全会一致
議案第69号	平成20年度鈴鹿市農業集落排水事業特別会計決算の認定について	認定	全会一致
議案第70号	平成20年度鈴鹿市介護保険事業特別会計決算の認定について	認定	全会一致
議案第71号	平成20年度鈴鹿市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	認定	賛成多数
議案第72号	平成20年度鈴鹿市水道事業会計決算の認定及び剰余金の処分について	認定・原案可決	全会一致
議案第73号	鈴鹿市公平委員会委員の選任同意について	原案可決	全会一致
議案第74号	鈴鹿市教育委員会委員の任命同意について	原案可決	全会一致
議案第75号	鈴鹿市固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	原案可決	全会一致
委員会発議案第1号	細菌性髄膜炎ワクチンの公費による定期接種化の早期実現を求める意見書	原案可決	全会一致
議員発議案第3号 議員発議案第4号	「義務教育費国庫負担制度の存続と、負担率2分の1への復元」を求める意見書 「30人学級を柱にした義務教育諸学校および高等学校次期定数改善計画の策定、教育予算拡充」を求める意見書	原案可決 原案可決	賛成多数 賛成多数
議員発議案第5号 議員発議案第6号	「保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充」を求める意見書 暮らせる年金の実現を求める意見書	原案可決 原案可決	賛成多数 賛成多数
請願番号	件名	議決内容	
請願第1号	細菌性髄膜炎ワクチンの公費による定期接種化の早期実現を求める請願書	採択	全会一致
請願第2号	「義務教育費国庫負担制度の存続と、負担率2分の1への復元」を求める請願書	採択	賛成多数
請願第3号	「30人学級を柱にした義務教育諸学校および高等学校次期定数改善計画の策定、教育予算拡充」を求める請願書	採択	賛成多数
請願第4号 請願第5号	「保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充」を求める請願書 暮らせる年金の実現を求める意見書の提出を求める請願書	採択 採択	賛成多数 賛成多数

## 11月・12月の会議日程

※日程は変更される場合があります。

11月	20日	(金)	10:00	議会運営委員会
	<b>30日</b>	(月)	10:00	<b>本会議(開会)</b> (本会議終了後 議会運営委員会)
12月	7~10日	(月~木)	10:00	本会議(一般質問)(10日本会議終了後 議会運営委員会)
	11日	(金)	10:00	本会議(質疑)(本会議終了後 予算決算委員会)
	15日	(火)	10:00	常任委員会〔文教福祉・建設水道・分科会〕
	16日	(水)	10:00	常任委員会〔総務・生活産業・分科会〕
	18日	(金)	10:00	予算決算委員会
	22日	(火)	10:00	議会運営委員会
	<b>24日</b>	(木)	10:00	<b>本会議(閉会)</b> (本会議終了後 全員協議会)

### 市民のみなさんのご意見をお寄せください!

市議会だよりに対するあなたのご意見・ご提案・ご要望をお聞かせください。お寄せいただいたご意見は、今後の議会だよりの発行の参考にさせていただきます。

〒513-8701 鈴鹿市神戸一丁目18番18号 鈴鹿市議会事務局  
TEL 059-382-7600 FAX 059-382-4876 [giji@city.suzuka.lg.jp](mailto:giji@city.suzuka.lg.jp)

### 会議録のお知らせ

一般質問や議案質疑など本会議の詳しい内容については、会議録が閲覧できますのでご覧ください。9月定例会の会議録は、12月中旬に市立図書館及び各地区市民センターなどに配布予定です。また、鈴鹿市議会ホームページに、会議録検索システムを掲載していますのでご覧ください。

### 傍聴のご案内

本会議や常任委員会、特別委員会、議会運営委員会及び全員協議会は傍聴できます。日程は市役所の掲示板と市議会のホームページに掲載します。ただし、日時が変更になる場合がありますので、傍聴する場合は、事前に議会事務局へご確認ください。電話 382-7600

### テレビ中継のお知らせ

本会議の代表・一般質問を、CNSテレビ(アナログ20ch・デジタル122ch)で生放送します。放送時間は、午前10時(開会時間)から会議の終了までです。ぜひご覧ください。